

石屋川クリーンキャンペーン

今年度の環境問題研究事業につきまして、幹事会で協議した結果、新たな試みとして、例年開催していました住吉川ではなく、同じ神戸市東灘区にある石屋川で開催することと致しました。

今年は純粹に川の清掃作業を行うことで立案し、募集案内を作成、参加者を募りました。

平成19年1月21日(日)の午後1時に河川敷に集合し、計15名参加での開催となりました。

この石屋川は、神戸市東灘区御影町近郊を流れており、御影石という石がありますが、昔は六甲山系の花崗岩の事を御影石と呼んでおり、その名残で神戸市に御影という地名が残っています。

石屋川の近くには御影町石屋という町があり、この川の付近には御影石の加工をする石屋が多く集まっていたので、石屋川という河川名がついたというのがこの川の由来だという事も子供たちと学習しました。

また、清掃終了後に撮影している所は、野坂昭如原作のジブリアニメ「火垂るの墓」で舞台となった記念碑です。この近くに御影公会堂という古くから残る建物があり、ここへ主人公の



清掃開始

神戸市管工事業協同組合青年部会

担当役員 岡田真一

実施日 平成19年1月21日(日)

参加者 総勢15名

(内訳: 榊原工業所 1名 榎岡田工業所 4名 池水工業㈱ 2名 加地設備機器㈱ 3名 榊澤田水道 5名)

清太と節子がすいとんを食べに行き、空襲後の焼け野原にぽつんと残る公会堂と六甲の山並みが映画にも登場していました。

肌寒い時期での開催となりましたが、晴天に恵まれ、清掃道具を配布し、開会宣言の後、杉原会長より、この事業により水の大切さや水への感謝の気持ちをもち続けていきたいと挨拶がありました。

清掃作業開始となり、各々がゴミばさみとゴミ袋を手にゴミを拾いました。普段からボランティア等が清掃されていることから、見た目にはきれいではありましたが、やはり空き缶やタバコの吸殻等が散らばっていたり、川の端に浮いていたりして、本当に水をきれいにするには大変な時間と労力が必要だという事を痛感させられました。

周辺のゴミを拾い終わったあと、水辺に住む生物の調査に入りました。これは子供を中心に川を覗き込みながら必死に捜したのですが、冬場であるからか周辺に生物の姿はなく、残念ながら調査打ち切りとなりました。来年はもう少し暖かい時期に開催したいと思っています……。

この事業は当青年部会でも継続事業として位置付けしており、今後も、子供達と共に大事な資源である水と接し、水の大切さを実感できるような事業展開を図りたいと考えております。



作業中



作業中



作業終了